

SSKP

つくしんぼの  
会報誌

# つくつく通信

No.65

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集~「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

## 暑かった(?)夏休み

長かった夏休みも終わり、ホッとひと息のつくしんぼスタッフ。でも、終わってみると、今年は例年に比べて過ごしやすい夏だったというのが正直な感想ではないでしょうか。涼しかったですから……。

去年は毎日のようにやっていたお庭での水遊びも、今年は本当に数えるほど。常に風邪を引かないようにと気を配りながらのものでした。

さて、そんなに涼しかった今年の夏休みですが、つくしんぼの子ども達は負けじと毎週1回プールに遊びに行きました。すみれ教室の温水プールでしたが、形だけでも夏を満喫です。

プールはいつ行っても空いていて、水中ウォーキングのマダム数名を除いては、ほぼ貸切の状態。まさに『つくしんぼ様御一行』の気分で、子ども達もプールの端から端



これは庭でのプール遊び

を元気に泳ぎ回って楽しました。夢中で遊んでいる間、何度かウォーキング中のマダムにぶつかったり水しぶきをかけたりと迷惑をかけてしまいましたが、そこはマダム、笑って許していただきました。

8月には毎年恒例となりつつある夕涼み会を開催。今年の夕涼み会は、親子の造形体験に流しそうめん、夜は花火と盛りだくさんの内容でした。

特にメインの流しそうめんには、遊びに来てくれたボランティアのお姉さんもビックリ。竹を割って作られた本格的な流しそうめんセットを見て「本当に流すとは思っていませんでした」と一言。本当に流すんですよ、お姉さん……。

そうめんが茹で上がり、いよいよ流しそうめん開始。さっきまで遊んでいた子ども達も、そうめんを取るポジション争いに必死です。見事ベストポジションを獲得したユウマ君は、そうめんをたくさんキヤッとして得意気な表情。

お腹いっぱいになるまで持ち場(?)を離



流れるソーメン

れず、一生懸命そうめんキヤツチに燃えていている子ども達の姿はほほえましいやら、ちょっと怖いやら。

夏休みの後半は新宿の音楽会へ。舞台に立って『ゆかいに歩けば』と『とんでつたバナナ』を演奏しました。ずっと練習してきた成果が本番で出せたのはわかりませんが、元気に演奏する子、楽器の音に耳をかたむけている子と、みんなそれぞれ思い思いに楽しんで参加しました。



プラレールだぜい

ながでも印象深いのはタカシくん。舞台の上で一人、フラダンスを披露してくれました。う~ん、素晴らしい。はりきつて演奏する子、な



お音楽会のお客さんはじいちゃんばあちゃんたち

んとなく楽器をたたく子、フラダンスを踊る子、みんなのあまりの可愛らしさに感涙するスタッフがここに一人ありましたとさ。

そんなこんなで夏休み終了。今年も忙しかったけれど、大事な思い出がたくさんできた夏休みでした。



こ~んな大きな絵も描きました



今回のキッズタイムは、タカシくんです。  
お母さんにお話ししていただきました。

たかしは自閉症児です。6年生です。4才の弟がいます。転勤族の我が家に生まれて、お腹にいる時も含めると4つの土地を転々としてきました。でも、ここ東京が5つ目の土地にして多分最後になると思います。

土地が変わるごとに全てガリセツトされるということは、たかしはもちろんのこと、親にとってもかなりのハンディになりました。

だからといってへこんでばかりいられません。2週間ぐらいは悶絶しているたかしも現実を受け入れ、まだ不満が残っている中で少しづつ態勢を立て直して、その点ではたくましい自閉症児になってきたかもしれません。親もいろんな意味で遅しくなりました。

たかしを見ていると「何を怒っているん

だろう?」「何で笑っているの?」「なに泣いてんのよー?」と常に? ? ? 状態で毎日がナゾ解きのようです。

でも普通ならどうってことないようなことも、たかしがするから“笑える”みたいなところもあって、自閉症児も上手に付きあえば(?)癒し系かもしれません。

とはいうものの、日常のほとんどは親が先手を打って「少しでもストレスのかからない生活」を維持しているようなもので、まだまだ気が抜けません。全部は無理かもしれないけれど、いつかはたかし自身の力で頑張ってもらわないと。

今はきれいに抜けている(自分で抜いた)まつ毛ですが、これが生え揃うと、たかしつて……結構男前なんです。

スミマセン、最後は親バカでした。

きて  
ね  
!!

# 秋のお祭り やきいも会

の  
ご  
案  
内

つくしんぼでは、毎年木枯らし吹く季節になると、近所の公園に落ち葉を集めに出かけて行きます。

そしてそのハツパで、落ち葉焚きをします。その中におイモを入れて食べるのです。

庭先で焚く落ち葉の中で焼くおイモがとってもおいしいものですから、近所の子どもたちにも声をかけ一緒に準備をし、みんなで食べます。

それがつくしんぼの晩秋の風景のひとコマになっています。

……が、今年はちょっと違います。

つくしんぼができた年からずっと続いている『やきいも会』ですが、つくしんぼという枠にとらわれずに、地域の子どもたち大人たちが楽しめる『秋のおまつり やきいも会』としてグレードアップしました。

「にこにこクラブ」という、遊びが大好きなグループの主催です。

社会福祉協議会の歳末助け合いからの予算で、今年初めて地域交流事業にチャレンジします。

## 秋のお祭り やきいも会(仮称)

日時……11月29日(土) 12~16時

(雨天の場合翌30日(日))

場所……フリースペースつくしんぼ

主催……すぎなクラブ

### 内容

- (1)焼き芋……落ち葉を集めて芋を焼く
- (2)お店やさん……大人や子どものグループが、手作りのおもちゃやゲーム、アクセサリー作り、火起こし体験などのお店を開く。(お金のやりとりはしません)
- (3)お楽しみ劇場……お母さん達のグループによる、紙芝居、人形劇、パネルシアター

子どもも大人もみんなみんな遊びに来てくださいね。

お手伝いしてくださる方も大歓迎です!



その頃からボランティアとして、2年後からはパートの職員さんとして、『つくしんぼのお母さん』役を担っていただいていた桜井紀世子さんが、ご家庭の事情(なんせ双子の女の子のお孫さんが生まれててんてこまい)なのです。(^o^)で、この8月いっぱいまで退職されました。

桜井さんからコメントをいただきました。「つくしんぼの最初から子どもたちと接してきて、たくさんの経験とエネルギーをいただきました。元気で頑張りました。また遊びに来ます。」

桜井さんぜひまた遊びに来てくださいね。



つくしんぼは1996年の5月から始まりました。最初の2年は東京都や町田市からの補助金もなく、保護者、ボランティアの方々の協力で日々の運営をしておりました。



## つくつく通信の裏表紙



8月3~4日の大地沢一泊。今年も法政大学現代福祉学部のサークル「ぴゅあぴゅあ」の皆さんに、子どもたちの相手を丸ごとお願ひしてしまいました。

彼らとのつきあいは2年前から。現3年の数人のメンバーが1年の時に作ったサークルで、そもそもはテニスサークルだけど、福祉学部だからついでにボランティアもしてみようかという、なんとも軟弱な発想が、私は結構好きです。(^^;)

それが今春、大勢の新入生が入り、なんと総勢80人規模のサークルになってしまった、とのこと。

私も大学時代、80人規模のクラブに所属しており、しかも会長までやってしまったので、大勢での活動が如何に収集つかないものか知っています。(^o^)

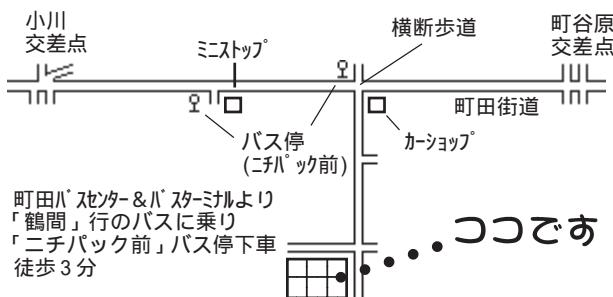
ただ、80人もいると、逆に思い切った活動も出来るんじゃないかな、なんて思ったりもするんです。たとえば、夏の大地沢を丸ごと一泊借り切って、町田市や社協の後援なんかもとりつけて、つくしんぼだけでなく、他のしようがいい見にも参加を呼びかけて、思いつきりスマーキヤンプでもやってみたら学生時代のいい思い出が出来るぞあ、なんて言ってみたのですが……。

やはり二の足を踏んでしまうようで……。

でもやっぱりやってみたら? と、もう一度けしかけてみる、と……。(^o^) v



### ♪つくしんぼの地図♪



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分弱です

ボランティア・ご寄付ありがとうございました

鈴木様、森様、横山様、阿部様、佐久間様、池田様、生津様、花島様、峯岸様、大榎本様、小池様、杉本様、福井様、小林様、高尾様、林様、川本様、三箇山様、田辺様、石井様、上田様、木村様、藤島様、法政大学様、廣田様、米山様、新井様、泉山様、大福地様、松田様、橋本様、中曾根様、小林様、浅川様、野々下様、渡辺様、田木様、飯塚様、松永様、青木様、梅田様、天野様、(7月) (8月)、後藤様、

### つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動の場として活動しています。96年5月に開所し、現在は補助金を受けてはいますが、運営面で苦しいのが現状です。

よろしかったら「ささえる会」の会員になって頂けませんでしょうか。年会費2000円(一口)でお願いしております。

会員の皆様には、この会報誌「つくつく通信」を送付させて頂きます。よろしくお願ひできましたら幸いです。

郵便振替口座番号  
00120-7-168283  
加入者口座名称  
フリースペースつくしんぼ